



「ベトナム都市鉄道分野における測定報告検証（MRV）に係る情報収集・確認調査」

中間報告会の開催

2019年11月5日

2019年11月4日にハノイ、11月5日にホーチミン市で、国際協力機構（JICA）は、「ベトナム都市鉄道分野における測定報告検証（MRV）に係る情報収集・確認調査」の中間報告会を開催致しました。

JICAは、ホーチミン市の天然資源環境局（DONRE）との共催で、「ベトナム都市鉄道分野における測定報告検証（MRV）に係る情報収集・確認調査」を2019年2月から実施しており、2020年9月まで実施予定です。

本調査は、気候変動・温暖化対策にかかわる国際協定である「パリ協定」を踏まえて、都市鉄道導入による温室効果ガス（GHG）の削減量の測定・報告・検証するためのMRV方法論（MRV: Measurement, Reporting and Verification）およびそれらを実施するための体制構築等を検討し、主要都市鉄道事業による温室効果ガス排出削減効果を推計するもので、日本のODAで支援中のハノイ市都市鉄道1・2号線、ホーチミン市都市鉄道1号線を対象としています。

JICAによるホーチミン市の2013年GHGインベントリ調査（注）では、ホーチミン市周辺は全人口の9%が居住、全国の総GHG排出量の16%を占めており、更に、同市の交通分野だけで同市のGHG総排出量の45%を占めていることが明らかになりました。

都市鉄道は、バイクや自動車に比べてGHG排出量が少ない代替交通手段と考えられています。ハノイやホーチミン市などの大都市圏での急速な旅客輸送需要に対応する都市鉄道は、政府が2015年に国連気候変動枠組条約（UNFCCC）に提出した「自国が決定する貢献（NDC: Nationally Determined Contribution）」レポートのGHG排出削減の国家目標に大きく貢献します。

加えて、都市鉄道の開発は、GHG排出の緩和の一つと考えられているだけでなく、特に交通渋滞が深刻で、大気汚染が悪化しているアジア諸国では重要な解決策の一つです。

ハノイとホーチミン市の世帯調査では、大多数が将来、都市鉄道の利用をしたいという結果になりました。（ホーチミン市都市鉄道1号線は81%、ハノイ都市鉄道1号線は66%）

JICAベトナム事務所室岡直道次長からは「公共交通手段を都市鉄道に移行する人が増えると、空気がきれいになり、より快適な生活ができます。本調査を通じて、ハノイとホーチミン市の都市移動効率を向上させるだけでなく、気候変動対策へのグローバルな取り組み

みにも貢献できることであることが人々に認識されることを願います。」との言及がなされました。

また、都市鉄道開発の専門家であり本調査のアドバイザーである日本大学の福田教授は、ハノイやホーチミン市などの大都市が周辺地域と接続することは、都市交通を改善する重要な要素であることを強調しました。

ホーチミン DONRE の気象、水文学、気候変動局 Mai Tuan Anh 部長は、JICA の支援に謝意を表し、本調査が、ホーチミン市の都市鉄道運行のモニタリングにおいて信頼性のあるデータかつ実用的な方法になることを期待し、都市鉄道の開発が 2021-2025 年の都市気候変動アクションプランの優先活動として含まれることについても言及がありました。

(注) 2017 年に、JICA は「国としての適切な緩和行動 (NAMA)」策定及び実施支援プロジェクトで、DONRE が実施している 2013 年の GHG インベントリ (ホーチミン全体の CO2 排出量状況、データにかかわる報告書) の更新を、すべてのセクター (エネルギー、運輸、廃棄物、農業) を網羅できるよう支援しました。

照会先：

JICA ベトナム事務所

11th Floor, Corner Stone Building, 16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem, Hanoi, Viet Nam

Tel: (84-24) 3831 5005 (ext. 137)

Takagi Yumi (PR Officer)